

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	唐津ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人コア学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業	情報専攻科	夜・通信	168 時間	160 時間	
	地域ニュービジネス科 IT オフィスコース	夜・通信	168 時間	160 時間	
	地域ニュービジネス科 地域特化コース	夜・通信	168 時間	160 時間	
	地域ニュービジネス科 医療事務コース	夜・通信	168 時間	160 時間	
	高度情報科	夜・通信	216 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="http://kbc.core.ac.jp/kbc-info">http://kbc.core.ac.jp/kbc-info</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	唐津ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人コア学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<http://kbc.core.ac.jp/kbc-info>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	市長	2018/4/1 ~ 2020/3/31	地域連携、経営支援
非常勤	市議会議員	2018/4/1 ~ 2020/3/31	地域連携、人材ニ ースアドバイザー
(備考) 学外理事 計5名			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	唐津ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人コア学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施に係る諸規定や実施内容の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>①作成過程 教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき、作成したものを体系的にまとめ、科目間の関連を明確化している。</p> <p>②作成・公表時期 全ての授業科目担当教員から2月末までに提出させたものを取りまとめ、毎年度当初(4月)までに学生に配布等の公表をしている。</p> <p>③成績評価 各学年の前期、後期ごとに実施</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="http://kbc.core.ac.jp/kbc-info">http://kbc.core.ac.jp/kbc-info</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、学則第13条により、各授業担当教員が学生の出席を把握のうえ出席率が3分の2以上の者を対象に行う。</p> <p>評価方法は授業計画(シラバス)に明記され、試験・課題・出席状況・授業態度の観点から点数化し、これら評価項目の総合評価で、優・良・可・不可の評語を用いて表している。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)          成績評価を100点満点で点数化し、学科単位で全科目の合計点及び平均値をとることで算出する。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p><a href="http://kbc.core.ac.jp/kbc-info">http://kbc.core.ac.jp/kbc-info</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)          本校の教育理念・教育方針に基づき、下記の能力を身に付けたもの及び卒業単位を満たしたものに卒業を認定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業界で求められる実践的な専門知識と技術を身に付けている</li> <li>・ 社会のニーズに柔軟に対応し、主体的に知識や技術の習得に励む</li> <li>・ 高い職業意識を持ち、地域・社会に貢献できる</li> <li>・ 卒業までに履修する単位数は、             <ul style="list-style-type: none"> <li>情報専攻科 77 単位以上</li> <li>地域ニュービジネス科 77 単位以上</li> <li>高度情報科 42 単位以上</li> </ul>             とする。但し、1 単位は 24 時間とする。           </li> </ul>	
<p>卒業の認定に関する方 針の公表方法</p>	<p><a href="http://kbc.core.ac.jp/kbc-info">http://kbc.core.ac.jp/kbc-info</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の開示（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	唐津ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人コア学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="http://kbc.core.ac.jp/kbc-info">http://kbc.core.ac.jp/kbc-info</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="http://kbc.core.ac.jp/kbc-info">http://kbc.core.ac.jp/kbc-info</a>
財産目録	<a href="http://kbc.core.ac.jp/kbc-info">http://kbc.core.ac.jp/kbc-info</a>
事業報告書	<a href="http://kbc.core.ac.jp/kbc-info">http://kbc.core.ac.jp/kbc-info</a>
監事による監査報告（書）	<a href="http://kbc.core.ac.jp/kbc-info">http://kbc.core.ac.jp/kbc-info</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報専攻科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	748.5 時間	304.5 時間	747 時間	時間	時間
			1800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		4人	0人	2人	3人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法を講義・演習・実習等に分類し、教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき作成している
成績評価の基準・方法
（概要） 試験、課題、出席、授業態度等の総合評価で行う
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業認定に必要な単位を取得していること
学修支援等
（概要） 入学前オリエンテーション、クラス担任制、ホームルーム、三者面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） インターンシップ、企業訪問、面接指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 応用情報技術者（国家資格）、基本情報技術者（国家資格）、ITパスポート試験（国家資格）、C言語プログラミング能力認定、日商PC検定、Webクリエイター能力認定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 教職員による声かけ。出席管理および担任制による出席不良者本人および保護者への連絡。三者面談、個別面談の実施		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	地域ニュービジネス科 IT オフィスコース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	819 時間	456 時間	525 時間	時間	時間
			1800 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	4人	0人	2人	3人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法を講義・演習・実習等に分類し、教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき作成している
成績評価の基準・方法
（概要） 試験、課題、出席、授業態度等の総合評価で行う
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業認定に必要な単位を取得していること
学修支援等
（概要） 入学前オリエンテーション、クラス担任制、ホームルーム、三者面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
（主な就職、業界等）			
（就職指導内容） インターンシップ、企業訪問、面接指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） 日商簿記検定、リテールマーケティング検定、秘書検定、日商 PC 検定、ビジネス実務マナー検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教職員による声かけ。出席管理および担任制による出席不良者本人および保護者への連絡。三者面談、個別面談の実施		



分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
工業		専門課程	地域ニュービジネス科 地域特化コース		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	882 時間	393 時間	525 時間	時間	時間
			1800 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		1人	0人	2人	3人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法を講義・演習・実習等に分類し、教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき作成している
成績評価の基準・方法
（概要） 試験、課題、出席、授業態度等の総合評価で行う
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業認定に必要な単位を取得していること
学修支援等
（概要） 入学前オリエンテーション、クラス担任制、ホームルーム、三者面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) インターンシップ、企業訪問、面接指導等			
(主な学修成果(資格・検定等)) 日本化粧品検定、国内旅行業務取扱管理者、リテールマーケティング検定、秘書検定、日商PC検定、ビジネス実務マナー検定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
1人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教職員による声かけ。出席管理および担任制による出席不良者本人および保護者への連絡。三者面談、個別面談の実施		

分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
工業	専門課程	地域ニュービジネス科 医療事務コース		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800 単位時間/単位	733.5 時間	592.5 時間	474 時間	時間	時間
			1800 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	2人	0人	2人	3人	5人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 授業方法を講義・演習・実習等に分類し、教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき作成している
成績評価の基準・方法
（概要） 試験、課題、出席、授業態度等の総合評価で行う
卒業・進級の認定基準
（概要） 進級・卒業認定に必要な単位を取得していること
学修支援等
（概要） 入学前オリエンテーション、クラス担任制、ホームルーム、三者面談等

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2人 (100%)	0人 (%)	2人 (100%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 医療機関、自治体			
（就職指導内容） インターンシップ、企業訪問、面接指導等			
（主な学修成果（資格・検定等）） メディカルマーク（医療事務/医科・歯科）、医療オペレータ技能検定、調剤報酬請求事務技能認定、ドクターズマークほか			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
2人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教職員による声かけ。出席管理および担任制による出席不良者本人および保護者への連絡。三者面談、個別面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	高度情報科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	960 単位時間/単位	441 時間	226.5 時間	292.5 時間	時間	時間
			960 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		0人	0人	2人	3人	5人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業方法を講義・演習・実習等に分類し、教育目標及び各学科で策定された方針と教育課程編成委員会での審議に基づき作成している
成績評価の基準・方法
(概要) 試験、課題、出席、授業態度等の総合評価で行う
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級・卒業認定に必要な単位を取得していること
学修支援等
(概要) 入学前オリエンテーション、クラス担任制、ホームルーム、三者面談等

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (100%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) インターンシップ、企業訪問、面接指導等			
(主な学修成果 (資格・検定等) ) 応用情報技術者 (国家資格)、基本情報技術者 (国家資格)、ITパスポート試験 (国家資格)、C言語プログラミング能力認定など			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 教職員による声かけ。出席管理および担任制による出席不良者本人および保護者への連絡。三者面談、個別面談の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
情報専攻科	120,000 円	270,000 円	465,000 円	その他は実習費、教育充実費、施設設備費
地域ニュー ビジネス科	120,000 円	270,000 円	465,000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
入学時特待生制度、在学生特待生制度、ファミリー支援制度、大学・短大生支援制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="http://kbc.core.ac.jp/kbc-info">http://kbc.core.ac.jp/kbc-info</a>		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) どのような学校であり、どのような状況であるのかなど学校全体の状況を把握できるようにし、運営に活用する。 ①主な評価項目 教育目標や教育活動の計画・状況・実績等 ②評価結果の活用方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の活動の状況やその成果・実績を広く社会一般にアピールする</li> <li>・学校の問題点を共有し、改善に向けて取り組む</li> <li>・学校運営の状況等に関する情報を公表し、公的な認可を受けた教育機関として、説明責任を果たす</li> <li>・本校の活動等に対する関係業界、所轄庁、地域住民、高等学校、学生、保護者等の理解を深める</li> </ul> ③評価委員の構成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の人数は10人以内とする</li> <li>・任期は1年とし、再任することができる</li> </ul>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
学校関係者評価を確実に実施し、 2020年度からその結果を公表するために委員の選任を行います。		
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に公表します。		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<http://kbc.core.ac.jp/>